

第9 火 災 概 況

火災概況の見かた

この概況は、消防組織法第40条に基づく「火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防第100号）」により、市町村から報告された平成22年1月から12月までの火災報告をもとに作成したものである。

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの又は人の意図に反して発生し、若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 対 象

対象は、広島県内において発生したすべての火災とする。

3 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。火災が2種以上にわたった場合は、焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除く。

「収容物」とは、原則として柱、壁等の区画の中心線で囲まれた部分に収容されている物をいう。

(2) 林野火災

森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

4 爆 発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

5 焼損の程度

建物一棟の焼損程度の区分基準は、次のとおりである。

(1) 全 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部 分 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼ や

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

6 建物の焼損面積

(1) 焼損床面積

建物の焼損が立体的に及んだ場合は、焼損したことによって機能が失われた部分の床面積を平方メートルで表す。

(2) 焼損表面積

建物の焼損が部分的である場合は、内壁、天井、床板等部分的なものを平方メートルで表す。

7 り災世帯

り災世帯は、次のとおり区分する。

(1) 全 損

建物（収容物を含む。以下この項において同じ。）の火災損害額がり災前建物評価額の70%以上のものをいう。

(2) 半 損

建物の火災損害額がり災前建物評価額の20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小 損

建物の火災損害額がり災前建物評価額の20%未満のものをいう。

8 死 者

火災現場において火災に直接起因して死亡した者（病死者を除く。）又は火災により負傷した後 48 時間以内に死亡した者。

9 そ の 他

(1) 全国数値は、「平成 23 年版 消防白書」による確定数である。

(2) 第 1 表と第 6 表の損害額は集計方法が異なる。

区 分	第 1 表	附 表 第 1
建 物	建物火災による損害額 + 建物火災（爆発）による損害額	建物火災による損害額
林 野	林野火災による損害額 + 林野火災（爆発）による損害額	林野火災による損害額
車 両	車両火災による損害額 + 車両火災（爆発）による損害額	車両火災による損害額
船 舶	船舶火災による損害額 + 船舶火災（爆発）による損害額	船舶火災による損害額
航 空 機	航空機火災による損害額 + 航空機火災（爆発）による損害額	航空機火災による損害額
そ の 他	その他の火災による損害額 + その他の火災（爆発）による損害額	その他の火災による損害額
爆 発		建物，林野，車両，船舶，航空機， その他の火災（爆発）による損害額

(3) 市町別火災発生状況の集計は，平成 21 年中にある行政区域で行った。

第 9 火災概況

1 火災概況

平成 22 年中における広島県内の火災概況は、第 1 表のとおりである。1,189 件の火災が発生し、損害額 13 億 4753 万円、死者 37 人、負傷者 148 人、焼損棟数 771 棟、建物焼損床面積 18,885 m²、建物焼損表面積 2,864 m²、林野火災面積 1,895 a、り災世帯数 535 世帯で、出火率は 4.2 であった。

出火原因別では、「たき火」「たばこ」「放火」「放火の疑い」の順となっており、この 4 つで全体の 40.0%を占める。

第 1 表 平成 22 年の火災と前年比較

区分	単位	平成 22 年	平成 21 年	増減	増減率	全 国		
		A	B	A-B	$\frac{(A-B)}{B} \times 100$	平成 21 年	増減	増減率
出火件数	件	1,189	1,318	△ 129	△ 9.8	46,620	△ 4,519	△ 8.8
建物	〃	578	668	△ 90	△ 13.5	27,137	△ 1,235	△ 4.4
林野	〃	88	112	△ 24	△ 21.4	1,392	△ 692	△ 33.2
車両	〃	124	103	21	20.4	5,042	△ 284	△ 5.3
船舶	〃	9	6	3	50.0	85	△ 24	△ 22.0
航空機	〃	0	0	—	—	3	△ 1	△ 25.0
その他	〃	390	429	△ 39	△ 9.1	12,961	△ 2,283	△ 15.0
焼損棟数	棟	771	990	△ 219	△ 22.1	37,210	△ 1,590	△ 4.1
全焼	〃	143	248	△ 105	△ 42.3	7,853	△ 580	△ 6.9
半焼	〃	47	67	△ 20	△ 29.9	2,444	△ 93	△ 3.7
部分焼	〃	229	313	△ 84	△ 26.8	10,317	△ 717	△ 6.5
ぼや	〃	352	362	△ 10	△ 2.8	16,596	△ 200	△ 1.2
建物焼損床面積	m ²	18,885	31,900	△ 13,015	△ 40.8	1,187,415	△ 37,469	△ 3.1
建物焼損表面積	〃	2,864	4,019	△ 1,155	△ 28.7	134,345	11,169	9.1
林野焼損面積	a	1,895	2,954	△ 1,059	△ 35.8	75,549	△ 30,851	△ 29.0
死者	人	37	40	△ 3	△ 7.5	1,738	△ 139	△ 7.4
負傷者	〃	148	149	△ 1	△ 0.7	7,305	△ 349	△ 4.6
り災世帯数	棟	535	675	△ 140	△ 20.7	23,865	△ 1,622	△ 6.4
全損	〃	105	158	△ 53	△ 33.5	5,245	△ 309	△ 5.6
半損	〃	40	52	△ 12	△ 23.1	1,875	△ 210	△ 10.1
小損	〃	390	465	△ 75	△ 16.1	16,745	△ 1,103	△ 6.2
損害額	千円	1,347,537	1,875,202	527,665	△ 28.1	101,762,173	8,637,696	9.3
建物	〃	1,241,156	1,804,584	563,428	△ 31.2	94,195,036	6,829,835	7.8
林野	〃	3,567	3,685	△ 118	△ 3.2	70,975	△ 450,219	△ 86.4
車両	〃	42,450	31,542	10,908	34.6	3,532,739	1,200,882	51.5
船舶	〃	5,747	2,470	3,277	132.7	197,575	△ 523,221	△ 72.6
航空機	〃	0	0	—	—	267,024	193,423	262.8
その他	〃	54,617	32,921	21,696	65.9	3,498,824	1,386,996	65.7
出火率 (人口 1 万人当たり)	—	4.2	4.6	△ 0.4	—	4.0	△ 0.4	—

1日当たりの火災被害は、第2表のとおりである。ここから

県内のどこかで、7時間16分（前年6時間38分）に1件の割合で火災が発生し、47時間3分（前年46時間21分）に1人の割合で死傷者が発生し、毎日369万円（前年514万円）の財産が焼失したことになる。

第2表 1日当たりの火災被害

区分	単位	平成22年	平成21年
出火件数	件	3.3	3.6
損害額	千円	3,691	5,138
建物焼損棟数	棟	2.1	2.7
建物焼損床面積	m ²	51.7	87.4
林野焼損面積	a	5.2	8.1
り災世帯数	世帯	1.5	1.8
死者	〃	0.10	0.11
負傷者	〃	0.41	0.41

2 出火件数

出火件数を火災種類別にみると、全火災に対する構成比は第3表のとおりである。建物火災が全火災の48.6%で全体の過半数を占めている。

第3表 火災種類別出火件数の構成割合

区分	平成22年		平成21年		全国(平成22年)	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
建物火災	578	48.6	668	50.7	27,137	58.2
住 宅	(199)	(16.7)	(261)	(19.8)	(9,886)	(21.2)
共同住宅	(92)	(7.7)	(95)	(7.2)	(4,829)	(10.4)
複合用途(特定)	(17)	(1.4)	(43)	(3.3)	(2,234)	(4.8)
倉 庫	0	0.0	(16)	(1.2)	(554)	(1.2)
工場	(1)	(0.1)	(47)	(3.6)	(1,802)	(3.9)
複合用途(非特定)	(43)	(3.6)	(27)	(2.0)	(900)	(1.9)
併用住宅	(15)	(1.3)	(24)	(1.8)	(715)	(1.5)
飲食店	(7)	(0.6)	(9)	(0.7)	(568)	(1.2)
物品店舗	(9)	(0.8)	(12)	(0.9)	(462)	(1.0)
その他	(195)	(16.4)	(134)	(10.2)	(5,187)	(11.1)
林野火災	88	7.4	112	8.5	1,392	3.0
車両火災	124	10.4	103	7.8	5,042	10.8
船舶火災	9	0.8	6	0.5	85	0.2
航空機火災	0	—	0	—	3	0.0
その他火災	390	32.8	429	32.5	12,961	27.8
合 計	1,189	100	1,318	100	46,620	100

出火件数を四季別にみると、冬季が最も多く 25.4% 占め、次いで春季、秋季、夏季の順となっている。

第 4 表 四季別出火件数

年別 季節別	平成 22 年				平成 21 年			
	出火件数(件)	割合	損害額(千円)	割合	出火件数(件)	割合	損害額(千円)	割合
春季(3～5月)	299	25.1%	317,644	23.6%	487	36.9%	603,195	32.2%
夏季(6～8月)	291	24.5%	251,570	18.7%	256	19.4%	268,236	14.3%
秋季(9～11月)	297	25.0%	307,526	22.8%	302	22.9%	520,061	27.7%
冬季(12～2月)	302	25.4%	470,797	34.9%	273	20.7%	483,710	25.8%
計	1,189	100.0%	1,347,537	100.0%	1,318	100.0%	1,875,202	100.0%

また、本県の出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）は、4.16（全国 9 位）で、全国平均 3.67 を上回った。

3 損害額

平成 22 年中における火災による損害額は、13 億 4753 万円で、前年より 5 億 2766 万円減少した。

この損害額は、県民 1 人当たりでは 471 円（前年 656 円）、1 日当たりでは 369 万円（前年 513 万円）、火災 1 件当たりでは 113 万円（前年 142 万円）となっている。

過去 10 年間の火災による損害額の推移をみると第 5 表のとおりである。

第 5 表 損害額の推移

区分 年別	損害額(千円)	左の指数	1 件当たりの 損害額(千円)	左の指数
13	3,831,398	100	2,359	100
14	2,921,520	76	1,799	76
15	2,072,555	54	1,623	69
16	5,857,980	153	4,330	184
17	2,278,290	59	1,670	71
18	2,422,560	63	1,869	79
19	3,007,494	78	2,109	89
20	2,098,933	55	1,584	67
21	1,875,202	49	1,423	60
22	1,347,537	35	1,133	48

平成 13 年=100

次に火災による損害額を火災種類別にみると第 6 表のとおりであり、建物火災が全体の 92.1% と大部分を占めている。

第6表 火災種類別損害状況

区 分	損害額(千円)	割合	1件当たりの損害額(千円)
建物火災	1,241,156	92.1%	2,147
林野火災	3,567	0.3%	41
車両火災	42,450	3.2%	342
船舶火災	5,747	0.4%	639
航空機火災	0	0.0%	—
その他火災	53,011	3.9%	136
爆 発	1,606	0.1%	—
計	1,347,537	100.0%	1,133

4 出火原因

平成22年中において発生した火災は1,189件のうち失火が634件(44.5%)となっており、火災の多くは火気の取扱いの不注意や不始末から発生している。

第7表 出火原因別出火件数

区 分	平成22年		平成21年	
	出火件数	割合(%)	出火件数	割合(%)
失 火	634	44.5%	695	48.7%
放火・放火の疑い	203	14.2%	259	18.2%
火 あ そ び	66	4.6%	78	5.5%
自然発火・再燃	28	2.0%	41	2.9%
天 災	4	0.3%	8	0.6%
不 明	247	17.3%	237	16.6%
計	1,182	100.0%	1,318	100.0%

出火原因別では、たき火(136件, 11.5%)が一番多く、以下、たばこ(135件, 11.4%)、放火(115件, 9.7%)、こんろ(105件, 8.9%)、放火の疑い(88件, 7.4%)の順になっている。

なお、「放火」と「放火の疑い」を合わせると203件で全体の17.1%となっている。

第 8 表 出火原因別出火件数

広島県						全国					
平成 22 年			平成 21 年			平成 22 年			平成 21 年		
原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比
たき火	136	11.5%	たき火	159	13.5%	放火	5,612	12.0%	放火	6,615	12.2%
たばこ	135	11.4%	たばこ	141	11.9%	こんろ	4,694	10.1%	こんろ	5,139	10.6%
放火	115	9.7%	放火の疑い	134	11.3%	たばこ	4,475	9.6%	たばこ	4,997	9.7%
こんろ	105	8.9%	放火	125	10.6%	放火の疑い	3,939	8.4%	放火の疑い	4,590	8.4%
放火の疑い	88	7.4%	こんろ	118	10.0%	たき火	2,515	5.4%	たき火	3,021	5.8%
火あそび	66	5.6%	火あそび	78	6.6%	火あそび	1,678	3.6%	火あそび	1,948	3.5%
電灯電話等の配線	34	2.9%	マッチ、ライター	30	2.5%	火入れ	1,033	2.2%	火入れ	1,604	3.2%
ストーブ	30	2.5%	電灯電話等の配線	30	2.5%	ストーブ	1,469	3.2%	ストーブ	1,457	2.9%
火入れ	26	2.2%	ストーブ	27	2.3%	電灯電話等の配線	1,362	2.9%	電灯電話等の配線	1,330	2.7%
マッチ・ライター	26	2.2%	灯火	21	1.8%	配線器具	1,143	2.5%	配線器具	1,059	2.1%
その他(不明調査中含む)	421	35.6%	その他(不明調査中含む)	455	38.5%	その他(不明調査中含む)	18,700	40.1%	その他(不明調査中含む)	19,379	39.0%
計	1,182	100.0%	計	1,318	111.5%	計	46,620	100.0%	計	51,139	100.0%

5 死者・負傷者

平成 22 年中には、火災により 37 人の尊い人命が失われた。これは、前年より 3 人減っている。また、負傷者は 148 人となっており、前年の 149 人と比べ 1 人 (0.6%) 減少した。過去 10 年間の火災による死傷者の推移は、第 9 表のとおりである。

第 9 表 火災による死傷者数の推移

(平成 13 年=指数100)

区分	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
死者	56	55	51	47	63	53	53	50	40	37
指数	100	98	91	84	113	95	95	89	71	66
負傷者	158	208	179	192	187	220	194	202	149	148
指数	100	132	113	122	118	139	123	128	94	94

火災による死者の火災種類別及び死因別の区分は、第 10 表のとおりである。

火災種類別では、建物火災による死者が 26 人で全体の 70.3%を占めており、前年の 40 人より 3

人減少した。

また、死因別では一酸化炭素中毒が14人で全体の37.8%を占め、次に火傷が8人(21.6%)と続いている。

第10表 火災による死傷者数の推移

(平成22年中)

死因 火災	一酸化炭素中毒	火傷	打骨折撲等	自殺	その他	不明	計	火災種類別構成比(%)
建物	13	5		5	1	2	26	70.3%
林野							0	0.0%
車両	1			3			4	10.8%
船舶								
航空機								
その他		3		2	1	1	7	18.9%
計	14	8		10	2	3	37	100.0%
死因別構成比(%)	37.8%	21.6%		27.0%	5.4%	8.1%	100.0%	

火災による死者の四季別・月別発生状況は、第11表のとおりである。

第11表 四季別・月別死者発生状況

(平成22年中)

季節別 区分	春季			夏季			秋季			冬季			計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
死者(人)	6	5	6	2	2	1	0	5	2	4	0	4	37
	17									5			
割合	16.2%	13.5%	16.2%	5.4%	5.4%	2.7%	0.0%	13.5%	5.4%	10.8%	0.0%	10.8%	100.0%

火災による死者の死に至った経過及び死者の年齢については、第12表のとおりである。

死に至った経過では、逃げ遅れが原因の者が13人で、死者全体の38.8%を占めている。その他の経過としては、放火自殺(自殺の巻添えを含む)が10人(28.0%)、その他7人(19.4%)となっている。

死者の年齢については、81歳以上が9人(25.0%)と最も多く、次いで61歳以上70歳までが8人(22.2%)、71歳以上80歳未満が6人(16.7%)、41歳以上50歳までが6人(16.7%)の順となっている。また、51歳以上による死者が27人と全体の75.0%を占める。

第12表 経過別・年齢別死者の状況

死者の発生した経過			年 齢											計		
区分	経過別	理由別	0 ~ 5	6 ~ 10	11 ~ 20	21 ~ 30	31 ~ 40	41 ~ 50	51 ~ 60	61 ~ 70	71 ~ 80	81 ~	不 明			
殺人・自損行為による死者(心中の道づれ巻添を含む)以外の死者	A 発見が遅れ、気づいた時は火煙が回りすでに逃げ道がなかったと思われるもの(全く気づかなかった場合を含む)。	(発見が遅れた理由) 熟睡	1						1	1	1			4	6	
		泥酔														
		病気・身体不自由											2			2
		その他														
	B 判断力に欠けあるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(判断力・体力的条件の要素) 5歳以下の乳幼児														2
		泥酔									1				1	
		病気・身体不自由										1			1	
		老衰														
	C 延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(逃げる暇がなかった理由) ガス爆発のため														
		危険物燃焼のため														
		その他														
	D 逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。	(逃げる機会を失った理由) 狼狽して														2
		持出品・服装に気を取られ														
		火災に触れ回っているうちに														
		消火しようとして											1		1	
		人を救助しようとして														
	E 避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む)。	(逃げ切れなかった理由) 身体不自由のため														7
		延焼拡大が早く				1								1	2	
		逃げ道を間違えて							1						1	
		出入口施錠のため										1	2	1	4	
F 一旦屋外避難後再進入したと思われるもの。 G 出火時屋外にいて出火後再進入したと思われるもの。	(進入した理由) 救助・物品搬出のため															
	消火のため															
	その他															
H 着衣着火、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの。	(着衣着火時の状況) 喫煙中										1				2	
	炊事中															
	採暖中(たき火を除く)												1	1		
	たき火中															
	火あそび中															
	その他火気取扱中												1	1		
I 放火自殺(心中の道づれを含む) J 放火自殺の巻添者(心中の道づれを除く) K 放火殺人の犠牲者								2	4	1	3				10	
その他	L A~K以外の経過等															
	M 不明 N 調査中							1	1	1	2	2		7		
計			1				2	6	4	8	6	9		36		
年齢構成比 (%)			2.8%				5.6%	16.7%	11.1%	22.2%	16.7%	25.0%		100.0%		

6 平成 22 年中の火災の特色

広島県の火災件数は、平成 14 年まで 1,500～2,000 件の間で推移してきたが、平成 15 年は 1,277 件、16 年 1,353 件、17 年 1,364 件、18 年 1,296 件、19 年 1,426 件、20 年 1,325 件、21 年 1,318 件、22 年 1,189 件と 1,500 件を割った。過去 10 年間の出火件数と出火率（人口 1 万人当たり）の推移は、第 13 表のとおりである。

本県では「放火」等が、長く出火原因の 1 位を占めてきたが、平成 17 年は「たばこ」、平成 18 年は「こんろ」、平成 19 年から平成 22 年は「たき火」が 1 位となった。放火による出火件数は、前年に比べ 10 件（0.8%）減少し、全体に占める割合は 9.7%（前年 9.5%）となった。（第 8 表参照）

また本県は、林野火災の発生件数が多いという特色がある。平成 22 年は 88 件で、全国第 3 位（前年 第 3 位）と依然上位を占めている。

第 13 表 出火件数・出火率の推移

年		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
広 島 県	出火件数	1,624	1,624	1,277	1,353	1,364	1,296	1,426	1,325	1,318	1,189
	出 火 率	5.7	5.7	4.4	4.7	4.8	4.5	5.0	4.6	4.6	4.2
全 国	出火件数	63,591	63,575	56,329	60,387	57,460	53,276	54,582	52,394	51,139	46,620
	出 火 率	5.0	5.0	4.4	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.7

第 14 表 「放火」「放火の疑い」による火災発生数の推移

		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
広 島 県	全出火件数	1,624	1,624	1,277	1,353	1,364	1,296	1,426	1,325	1,318	1,189
	放火	247	265	202	173	161	140	155	127	125	115
	構成比(%)	15.2%	16.3%	15.8%	12.8%	11.8%	10.8%	10.9%	9.6%	9.5%	9.7%
	放火の疑い	129	171	75	95	86	88	158	110	134	88
	構成比(%)	7.9%	10.5%	5.9%	7.0%	6.3%	6.8%	11.1%	8.3%	10.2%	7.4%
全 国	全出火件数	63,591	63,651	56,333	63,387	57,460	53,276	54,582	52,394	51,139	46,620
	放火	8,120	8,216	8,354	8,210	7,225	6,649	6,558	6,396	6,615	5,612
	構成比(%)	12.8%	12.9%	14.8%	13.0%	12.6%	12.5%	12.0%	12.2%	12.9%	12.0%
	放火の疑い	6,288	6,337	5,707	5,796	5,039	4,619	4,584	4,380	4,590	3,939
	構成比(%)	9.9%	10.0%	10.1%	9.1%	8.8%	8.7%	8.4%	8.4%	9.0%	8.4%

7 過年度特記火災事例

過去10年間に県内で発生した火災のうち3名以上死者の発生した火災は、第15表のとおりである。
また、20ha以上焼損した林野火災は、第16表のとおりである。

第15表 3名以上死者の出た火災

年月日	出火場所	種別	火災原因	死者
H 9年 4月10日	広島市安佐北区口田南二丁目	建物 (爆発)	不明	3
H 12年 10月28日	御調郡向島町	建物	放火	3
H 13年 1月17日	広島市西区己斐大迫一丁目	建物	不明	3
H 15年 10月11日	豊田郡川尻町	建物	不明	5

第16表 20ha以上焼損した林野火災

(平成6年～平成22年)

発生年月日	発生場所	焼損面積 (ha)	損害額 (千円)	自衛隊 派遣	空中消火		原因
					自衛隊	消防	
H 6. 8. 11	竹原市	352	500,870	有	有	有 (広島市, 島根県, 京都市)	たばこ
	三原市						
H 6. 8. 17	因島市	57	57,924	有	有	有 (広島市, 島根県, 福岡市, 北九州市)	たき火
H 7. 4. 4	豊田郡川尻町	70	1,740			有 (広島市)	たき火
	豊田郡安浦町						
H 7. 8. 6	佐伯郡大柿町	80	2,520	有	有	有 (広島市, 島根県, 香川県, 福岡市)	たき火 (たき火による 火の粉)
H 9. 1. 20	安芸郡江田島町	45	2,633	有	有	有 (広島県, 広島市, 香川県, 愛媛県)	たき火
H 9. 3. 8	豊田郡安浦町	185	38,281	有	有	有 (広島県, 広島市, 愛媛県, 高知県)	たき火
	豊田郡安芸津町						
H 9. 4. 13	賀茂郡黒瀬町	92	3,315	有		有 (広島市, 島根県, 香川県)	たばこ
H 9. 4. 17	福山市	50	14,250			有 (広島市, 香川県, 岡山市)	たばこ
H10. 3. 8	佐伯郡大野町	28	14,646			有 (広島県, 広島市, 愛媛県)	草焼き
H11. 5. 2	佐伯郡大野町	136	35,920	有	有	有 (広島市, 愛媛県, 岡山市)	たばこ
	大竹市						
H12. 8. 30	豊田郡瀬戸田町	63	64,703	有	有	有 (広島県, 広島市, 山口県, 島根県, 愛媛県, 徳島県, 香川県, 高知県)	不明
H14. 12. 3	尾道市	30	3,017			有 (広島県, 広島市)	不明
	三原市						
H16. 2. 14	豊田郡瀬戸田町	391	105,317	有	有	有 (広島県, 広島市)	不明

発生年月日	発生場所	焼損面積 (ha)	損害額 (千円)	自衛隊 派遣	愛媛県, 鳥取県, 岡山市)		原因
					空 中 自 衛 隊	消 火 消 防	
H18. 1. 11	福山市	100	4,500	有	有	有 (広島県, 広島市 岡山市 愛媛県 徳島県 鳥取県 島根県)	放火の疑い
H19. 3. 4	東広島市	30	948			有 (広島市)	不 明

第9-1表 火災総括表

区分 月	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	り災人員	死者	負傷者
1	58	7	10	1		30	106	13	6	19	35	73	7	5	31	43	108		15
2	58	13	1	2		33	107	23	4	31	34	92	19	7	49	75	172	4	24
3	47	3	14			31	95	11	2	15	25	53	13	3	37	53	103	6	15
4	47	9	13			26	95	5	6	14	31	56	6	3	24	33	78	5	10
5	54	11	13	1		30	109	20	2	30	28	80	12	3	34	49	121	6	10
6	42	6	12	1		19	80	3	4	18	22	47	6	2	26	34	65	2	11
7	36	1	6	1		27	71	11	5	10	26	52	8		21	29	79	2	5
8	49	11	11	1		68	140	8	2	15	33	58	5	2	30	37	80	1	11
9	49	15	11	1		58	134	13	5	23	26	67	2	3	33	38	100		17
10	45	4	6	1		28	84	9	1	20	32	62	6	4	39	49	100	5	10
11	40	4	16			19	79	14	3	18	26	61	10	2	33	45	97	2	9
12	53	4	11			21	89	13	7	16	34	70	11	6	33	50	120	4	11
計	578	88	124	9		390	1189	143	47	229	352	771	105	40	390	535	1223	37	148
構成比	48.6%	7.4%	10.4%	0.8%		32.8%	100%	18.5%	6.1%	29.7%	45.7%	100%	19.6%	7.5%	72.9%	100%			

平成21	668	112	103	6		429	1,318	248	67	313	362	990	158	52	465	675	1,558	40	149
20	717	102	116	6		384	1,325	208	71	286	401	966	134	52	459	645	1,651	50	196
19	786	124	124	10		382	1,426	256	82	340	457	1,135	154	64	540	758	1,833	53	194
18	756	78	156	3		303	1,296	231	71	356	442	1,100	157	50	586	793	1,954	53	220
17	737	102	168	7		350	1,364	814	67	345	419	1,645	164	49	510	723	1,804	63	187
16	704	144	153	5		347	1,353	229	59	313	397	998	184	38	519	741	1,758	47	192
15	700	91	168	8		310	1,277	182	55	336	384	957	106	44	479	629	1,548	51	179
14	817	191	156	1		459	1,624	279	80	397	407	1,163	167	45	537	749	1,856	51	208
13	871	146	187	6		414	1,624	260	93	427	434	1,214	171	61	571	803	2,027	56	158
12	836	115	187	6		376	1,520	286	78	396	431	1,191	170	45	534	749	1,937	42	198
11	840	121	182	9		371	1,523	217	90	398	435	1,140	151	65	546	762	2,017	48	187
10	834	137	173	12		346	1,502	198	87	428	403	1,116	133	54	512	699	1,893	36	188
9	871	188	154	8		418	1,639	286	72	475	394	1,227	155	47	564	766	2,137	51	184
8	874	186	151	9		497	1,717	282	79	484	378	1,223	162	56	623	841	2,346	52	230
7	871	233	172	6		529	1,811	275	118	452	416	1,261	178	74	562	814	2,274	42	149
6	867	325	155	8	1	639	1,995	317	106	893		1,316	210	62	663	935	2,618	49	204
5	786	247	142	9		384	1,568	235	80	797		1,112	135	39	521	695	1,966	34	171
4	819	191	136	5		424	1,575	257	108	828		1,193	148	49	497	694	2,060	45	127
3	897	170	139	5		372	1,583	264	96	913		1,273	172	58	597	827	2,348	33	138
2	922	179	158	11		423	1,693	301	94	901		1,296	198	59	636	893	2,581	68	193
元	932	222	155	10		425	1,744	289	118	957		1,364	191	68	609	868	2,581	57	179
昭和63	999	257	151	4		445	1,856	260	137	1,033		1,430	198	76	743	1,017	2,979	57	207
62	932	221	111	2		420	1,686	301	100	925		1,326	219	62	663	944	2,823	46	168
61	964	310	106	9		515	1,904	317	114	955		1,386	206	53	678	937	2,926	49	197
60	922	275	92	4		441	1,734	312	114	910		1,336	220	71	672	963	3,003	38	186
59	945	269	95	9		519	1,837	300	126	924		1,350	208	82	655	945	2,864	41	219
58	907	223	115	6		419	1,670	288	122	886		1,296	197	73	633	903	2,863	46	177
57	883	272	109	17		445	1,726	272	115	807		1,194	190	67	553	810	2,521	47	192
56	946	153	85	12	1	367	1,564	284	109	851		1,244	214	71	604	889	2,753	41	177

年	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38
出火件数	1,608	1,749	2,105	1,773	1,560	1,627	1,926	1,862	1,357	1,561	1,380	1,272	1,096	1,266	1,031	1,172	1,139	1,190

(注) 焼損棟数のうち「ぼや」、負傷者のうち「30日死者」、損害額のうち「爆発」、焼損面積のうち「建物表面積」、爆発の「損害棟数」

(平成22年中)

損 害 見 積 額 (千円)								焼損面積			
爆 発 を 除 く							爆	計	建物 (㎡)		林野 (a)
建	収	林	車	船	航	そ			床	表	
物	容	野	両	舶	空	の	発	面	面		
					機	他		積	積		
129725	24604		1973	1688		498		158488	2154	230	16
103797	97641	66	170			322	10	202006	2728	433	203
35458	41212		8679			53		85402	1306	212	6
69927	30820		3485			603		104835	1001	22	49
68959	53896	3	4015	100		434		127407	2482	732	39
47324	25421		9523	700		4104		87072	916	277	24
62928	21843		401	75		460		85707	1970	100	
26152	46434	30	5512	110		553		78791	915	127	50
68753	80913		4853			43379		197898	1773	313	205
17634	13943	3428	907	3074		880		39866	520	98	1104
50019	14791		2273			1083	1596	69762	1318	170	39
76204	32758	40	659			642		110303	1802	150	160
756880	484276	3567	42450	5747		53011	1606	1347537	18885	2864	1895
56.2%	35.9%	0.3%	3.2%	0.4%		3.9%	0.1%	100%			

1,152,364	652,220	3,685	31,542	2,470		32,628	293	1,875,202	31,900	4,019	2,954
1,482,538	534,444	1,951	54,695	3,048		20,354	1,903	2,098,933	28,570	4,673	1,325
1,489,901	1,348,074	1,691	62,070	88,548		14,421	2,789	3,007,494	38,583	7,528	3,928
1,513,804	786,512	6,990	67,656	17,033		26,993	3,572	2,422,560	31,015	5,394	13,269
1,274,413	863,354	1,226	78,979	11,100		49,216	2	2,278,290	33,404	4,926	1,376
2,147,051	3,467,172	108,417	58,504	1,209		39,547	36,080	5,857,980	41,047	11,967	43,041
1,037,488	826,609	1,884	56,378	116,116		32,127	1,953	2,072,555	22,536	3,998	1,671
1,561,201	1,227,086	8,754	63,547	44		60,410	478	2,921,520	38,543	5,440	7,542
1,781,931	1,955,835	2,453	64,029	1,697		25,403	50	3,831,398	45,133	6,762	2,321
2,056,396	1,090,433	67,919	73,527	196		48,442	8,957	3,345,870	41,748	5,299	8,016
1,235,125	1,203,425	38,955	100,653	5,672		23,766	12,236	2,619,832	33,209	4,414	16,948
1,161,667	810,686	19,223	76,318	27,517		47,428	2,096	2,144,935	28,846	4,102	4,740
1,747,668	1,280,108	46,224	68,477	7,002		57,197	988	3,207,664	34,773	4,514	40,182
1,553,618	1,241,709	19,252	77,885	4,374		75,818	601,143	3,573,799	35,571	4,953	5,855
1,444,788	1,227,250	7,558	73,250	19,362		42,573	13,398	2,828,179	39,237	5,635	19,966
1,638,817	1,959,932	566,374	128,014	3,838	45,958	40,202		4,383,135	45,396		49,696
1,165,062	1,041,986	195,675	122,484	27,909		100,778		2,653,894	28,102		34,163
1,477,042	1,373,707	9,664	70,813	18,683		18,483		2,968,392	36,298		2,898
1,442,314	1,325,931	5,139	45,573	4,271		32,188		2,855,416	35,603		5,573
1,307,681	1,348,489	4,927	138,507	36,418		30,844		2,866,866	39,752		6,216
1,506,788	1,345,746	6,485	89,948	2,528		78,138		3,029,633	41,534		6,259
1,371,129	1,628,667	46,579	49,742	56,295		46,147		3,198,559	40,258		22,455
1,169,896	1,074,908	10,755	421,535	13,148		14,392		2,704,634	42,569		5,196
1,449,399	1,351,497	66,056	29,194	45,079		59,439		3,000,664	45,567		38,771
1,309,215	1,377,937	21,749	28,680	6,597		12,103		2,756,281	38,394		13,420
1,465,517	1,357,285	95,790	28,109	1,485		11,032		2,959,218	46,762		48,130
1,277,865	1,478,406	50,058	34,965	1,691		88,699		2,931,684	42,879		17,008
1,053,453	956,394	14,965	16,337	5,066		14,096		2,060,311	36,797		9,402
1,113,795	996,866	24,524	21,996	12,327		66,108		2,235,616	38,071		14,199

「車両等数」については、平成7年から統計項目となった。

第9-2表 平成22年中の出火原因別火災件数

全 火 災			建 物			林 野			車
原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因
たき火	137	11.5%	こんろ	104	18.0%	たき火	40	35.7%	排気管
たばこ	135	11.4%	たばこ	61	10.6%	放火の疑い	12	10.7%	交通機関内配線
放火	115	9.7%	放火	56	9.7%	火入れ	7	6.3%	放火
こんろ	105	8.8%	放火の疑い	40	6.9%	たばこ	6	5.4%	たばこ
放火の疑い	88	7.4%	ストーブ	30	5.2%	火あそび	4	3.6%	マッチ・ライター
火あそび	66	5.6%	電灯電話等の配線	30	5.2%	放火	3	2.7%	電気装置
電灯電話等の配線	34	2.9%	配線器具	22	3.8%				衝突の火花
ストーブ	30	2.5%	火あそび	21	3.6%				放火の疑い
マッチ・ライター	27	2.3%	電気機器	15	2.6%				電気機器
火入れ	26	2.2%	たき火	12	2.1%				内燃機関
排気管	24	2.0%	溶接機・切断機	9	1.6%				電灯電話等の配線
配線器具	22	1.9%	風呂かまど	8	1.4%				こんろ
交通機関内配線	22	1.9%	焼却炉	8	1.4%				炉
電気機器	20	1.7%	マッチ・ライター	8	1.4%				煙突・煙道
溶接機・切断機	16	1.3%	電気装置	7	1.2%				火あそび
不明・調査中	92	7.7%	不明・調査中	54	9.3%	不明・調査中	7	6.3%	不明・調査中
その他	230	19.3%	その他	93	16.1%	その他	9	8.0%	その他
計	1,189	100.0%	計	578	100.0%	計	112	100.0%	計

両		船 舶			航 空 機			そ の 他		
件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合	原 因	件 数	割 合
21	16.9%	風呂かまど	2	22.2%				たき火	85	21.8%
20	16.1%	炉	1	11.1%				たばこ	61	15.6%
8	6.5%	煙突・煙道	1	11.1%				放火	48	12.3%
7	5.6%	こたつ	1	11.1%				火あそび	40	10.3%
6	4.8%	取灰	1	11.1%				放火の疑い	32	8.2%
5	4.0%							火入れ	15	3.8%
5	4.0%							マッチ・ライター	11	2.8%
4	3.2%							焼却炉	7	1.8%
3	2.4%							溶接機・切断機	7	1.8%
3	2.4%							取灰	3	0.8%
2	1.6%							電気機器	2	0.5%
1	0.8%							煙突・煙道	1	0.3%
1	0.8%							排気管	1	0.3%
1	0.8%							電気装置	1	0.8%
1	0.8%							電灯電話等の配線	1	0.8%
8	6.5%	不明・調査中	1	11.1%				不明・調査中	53	42.7%
28	22.6%	その他	2	22.2%				その他	22	17.7%
124	100.0%	計	9	100.0%				計	390	100.0%

第9-3表 出火原因別火災件数の推移

平成 15 年			平成 16 年			平成 17 年			平成 18 年
原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因
放 火	205	16.1%	放火	173	12.8%	たばこ	172	12.6%	こんろ
たばこ	134	10.5%	たき火	154	11.4%	たき火	162	11.9%	たばこ
た き 火	110	8.6%	たばこ	135	10.0%	放火	161	11.8%	放火
火あそび	78	6.1%	こんろ	132	9.8%	こんろ	142	10.4%	たき火
放火の疑い	74	5.8%	放火の疑い	95	7.0%	放火の疑い	86	6.3%	放火の疑い
パンガステーブル	53	4.2%	火あそび	72	5.3%	火あそび	69	5.1%	火あそび
都市ガス テーブル	40	3.1%	ストーブ	41	3.0%	ストーブ	60	4.4%	ストーブ
石油・ガソリン ストーブ	27	2.1%	火入れ	36	2.7%	排気管	37	2.7%	火入れ
枯れ草焼き	26	2.0%	電灯電話等の配線	33	2.4%	交通機関内配線	28	2.1%	電気機器
排気管	25	2.0%	電気機器	30	2.2%	配線器具	26	1.9%	電灯電話等の配線
ロパンガスこんろ	22	1.7%	排気管	24	1.8%	火入れ	24	1.8%	配線器具
火の 火 の	20	1.6%	交通機関内配線	24	1.8%	電気機器	21	1.5%	排気管
ライター	20	1.6%	マッチ・ライター	23	1.7%	マッチ・ライター	21	1.5%	マッチ・ライター
電気ストーブ・火鉢 (開放式)	16	1.3%	溶接機・切断機	22	1.6%	溶接機・切断機	20	1.5%	焼却炉
交通機関内 配線(その他)	15	1.2%	配線器具	19	1.4%	電灯電話等 の配線	19	1.4%	灯火
不明 (調査中)	85	6.7%	不明 (調査中)	89	6.6%	不明・調査中	82	6.0%	不明・調査中
上記以外	327	25.6%	上記以外	251	18.6%	上記以外	234	17.2%	その他
計	1,277	100.0%	計	1,353	100.0%	計	1,364	100.0%	計

8 年		平成 19 年		平成 20 年			平成 21 年			平成 22 年			
件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合
174	13.4%	たき火	183	12.8%	たき火	161	13.5%	たき火	159	12.1%	たき火	137	11.5%
150	11.6%	放火の疑い	158	11.1%	こんろ	160	13.5%	たばこ	141	10.7%	たばこ	135	11.3%
140	10.8%	放火	155	10.9%	たばこ	153	12.9%	放火の疑い	134	10.2%	放火	115	9.6%
97	7.5%	こんろ	153	10.7%	放火	127	10.7%	放火	125	9.5%	こんろ	105	8.8%
88	6.8%	たばこ	151	10.6%	放火の疑い	110	9.3%	こんろ	118	9.0%	放火の疑い	88	7.4%
71	5.5%	火あそび	56	3.9%	火あそび	66	5.6%	火あそび	78	5.9%	火あそび	66	5.5%
50	3.9%	火入れ	40	2.8%	ストーブ	42	3.5%	火入れ	51	3.9%	電灯電話等の配線	34	2.9%
37	2.9%	ストーブ	35	2.5%	火入れ	40	3.4%	電灯電話等の配線	30	2.3%	ストーブ	30	2.5%
33	2.5%	マッチ・ライター	32	2.2%	電灯電話等の配線	33	2.8%	マッチ・ライター	30	2.3%	マッチ・ライター	27	2.3%
31	2.4%	排気管	29	2.0%	配線器具	27	2.3%	ストーブ	27	2.0%	火入れ	26	2.2%
31	2.4%	配線器具	29	2.0%	マッチ・ライター	26	2.2%	灯火	21	1.6%	排気管	24	2.0%
29	2.2%	電灯電話等の配線	28	2.0%	排気管	21	1.8%	配線器具	19	1.4%	配線器具	22	1.8%
28	2.2%	溶接機・切断機	22	1.5%	電気機器	18	1.5%	溶接機・切断機	19	1.4%	交通機関内配線	22	1.8%
17	1.3%	電気機器	18	1.3%	焼却炉	17	1.4%	排気管	18	1.4%	溶接機・切断機	16	1.3%
17	1.3%	焼却炉	16	1.1%	電気装置	13	1.1%	取灰	18	1.4%	取灰	18	1.5%
92	7.1%	不明・調査中	90	6.3%	不明・調査中	75	6.3%	不明・調査中	95	7.2%	不明・調査中	92	7.7%
211	16.3%	その他	231	16.2%	その他	100	8.4%	その他	235	17.8%	その他	235	19.7%
1,296	100.0%	計	1,426	100.0%	計	1,189	100.0%	計	1,318	100.0%	計	1,192	100.0%

第9-4表 市町別火災発生状況

区分 市町村名	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建	林	車	船	航	そ		全	半	部	ぼ		全	半	小		り	死	負
	物	野	両	船	空	の	計	焼	焼	焼	や	計	損	損	損	計	災	者	傷
広島市	239	18	50			175	482	31	11	87	177	306	31	19	201	251	555	11	58
(中区)	49		5			26	80	1	1	8	45	55	3	2	26	31	61	1	10
(東区)	17	6	8			19	50	5	1	10	13	29	5	3	20	28	67	3	2
(南区)	34	2	4			23	63	3		12	30	45	2	2	30	34	76	2	5
(西区)	36	1	6			21	64	1	2	16	21	40	4	7	39	50	110		18
(安佐南区)	42	2	12			24	80	8	3	18	32	61	5	2	36	43	96	2	5
(安佐北区)	26	3	6			35	70	8	1	8	14	31	6		11	17	36	1	7
(安芸区)	13		5			13	31	2	2	5	9	18	1	2	15	18	44	1	1
(佐伯区)	22	4	4			14	44	3	1	10	13	27	5	1	24	30	65	1	10
呉市	46	5	7	1		20	79	10	4	16	35	65	9	2	33	44	91	5	11
竹原市	10	1				4	15	3		6	9	18	2		5	7	19		2
三原市	21	8	11			25	65	10	3	7	10	30	7		8	15	29	1	7
尾道市	40	1	11	1		6	59	11	4	17	21	53	10	1	28	39	107	2	8
福山市	77	7	18	6		29	137	24	11	30	31	96	17	8	29	54	144	5	21
府中市	8	4	1				13	1	2	5	2	10	1	2	5	8	17		1
三次市	14	7	3			14	38	5	3	2	8	18	3	2	6	11	22	2	6
庄原市	10	7	2			11	30	6		5	3	14	2		4	6	19		4
大竹市	6	1	2			9	18	1		4	1	6	1		5	6	14		1
東広島市	35	10	4			36	85	13	2	21	13	49	6	5	17	28	63	2	9
廿日市市	16	2	1			8	27	2		6	10	18	1		6	7	20	2	
安芸高田市	8	2	1			8	19	6	4	2	2	14	3		3	6	17	1	2
江田島市	10	1	2	1		10	24	7		6	8	21	4		14	18	38	2	5
府中町	15	2	2			4	23		2	5	10	17	1	1	13	15	28	1	5
海田町	4		1			4	9	1			3	4	4		2	6	8	1	1

No.1

(平成22年中)

損害見積額(千円)								焼損面積			
爆発を除く							爆発	計	建物(m ²)		林野(a)
建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他			床面積	表面積	
327,103	196,705		9,152			3,704		536,664	5,257	1,271	25
9045	12042		470			381		21938	152	149	
28629	11163		58			52		39902	462	93	10
17074	9275		84			27		26460	230	157	3
45745	38815		688			197		85445	855	328	3
55779	45682		545			713		102719	886	283	1
86733	31063		982			346		119124	1697	103	2
29027	22267		785			1920		53999	473	84	
55071	26398		5540			68		87077	502	74	6
35889	36674	3410	442			197		76612	1050	189	1105
8736	20941		35			91		29803	555	40	110
19544	32845		4929					57318	985	35	12
54749	12984		8250	110		1082		77175	1648	140	39
127666	83651		5903	2563		483	10	220276	3712	744	183
10049	2122	66	39					12276	304	9	28
27583	3284	3	167			391	745	32173	807	18	72
24692	3602		1290			1		29585	859	14	29
3194	1942					334		5470	192	5	1
54495	24030	48	2342			6330		87245	982	87	157
16530	6166		383			170	851	24100	411	8	2
9683	15953		109			3887		29632	534	13	12
10295	2860		29	3074		207		16465	375	141	5
3321	3222		479			21		7043	118	1	
12466	5693		281			36107		54547	231	1	

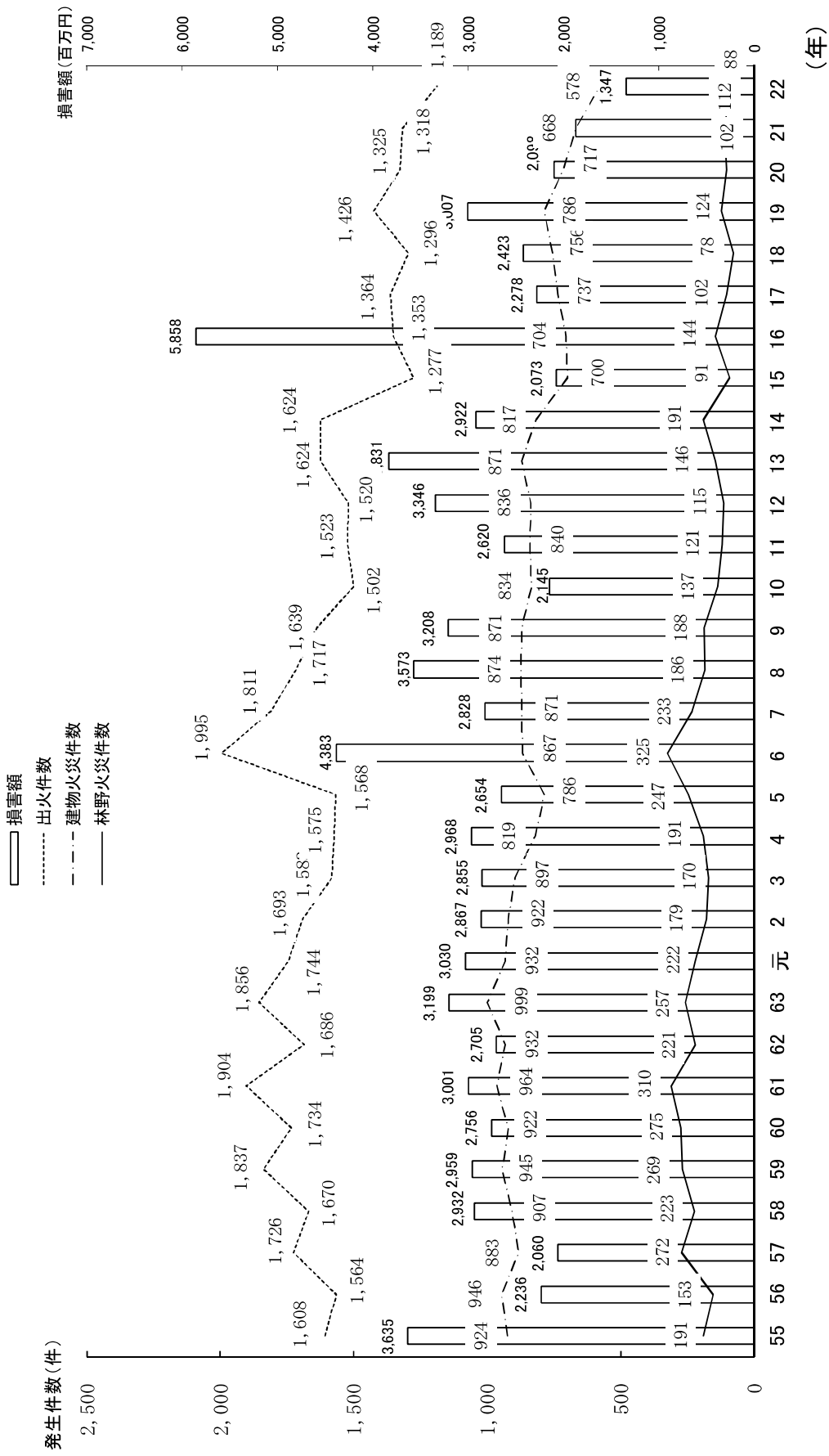
第9-4表 市町別火災発生状況

区分 市町村名	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り災者		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	り 災 人 員	死 者	負 傷 者
熊野町	4	1	1			6	12	1		1	2	4			2	2	8		2
坂町	1	1	2			4	8				1	1			1	1	1		1
廿日市市(吉和村)	1						1	3				3							
安芸太田町		1	1				2												
北広島町	6	1	2			5	14	2	1	3	3	9	1		1	2	4		2
大崎上島町	1	1				3	5	3		3	1	7	1		3	4	6		1
世羅町	4	3	2			8	17	2		2	2	6			3	3	4	1	1
神石高原町	2	4				1	7	1		1		2	1		1	2	9	1	

No.2
(平成22年中)

損害見積額(千円)								焼損面積			
爆発を除く							爆発	計	建物(m ²)		林野(a)
建物	収容物	林野	車両	船舶	航空機	その他			床面積	表面積	
156	126		39			1	322	7	6	1	
4			1897				1901			2	
392	182						574	50			
			6324				6324			3	
4912	30747	40	197				35896	332	133	20	
3414	138						3552	321	6	30	
544	279		163				986	52	3	45	
1463	130					5	1598	103		14	

第9-5表 火災件数・損害額の推移



第9-6表 火災による死者・負傷者の推移

